



『希望・創造・友情』あふれる学校

すずかぜ

都立花畑学園

第13号

R7/3/18 発行



花畑学園の学校だより

木は光を浴びて育つ

校長 永島 崇子

先週、桜の開花予想が発表されました。東京は22日あたりとのことですが、ずっと南にある高知県の開花予想日と同じになっています。地図上で考えると、「桜前線は北上する」はずなのですが、どうしてなのかな？と、あれこれ調べることにしました。

すると、基本的には北上するので南の方から開花していくようですが、開花を判断する「標本木（ひょうほんぼく）」の樹齢も影響するということがわかりました。また、少々寒くなったとしても、経験が多い木ほど、「そろそろ咲いても大丈夫だ！」と思うと開花するとのこと。こうして考えると、私たちの生活や学習の中でも、同じような場面があるかもしれません。自然の営みから学ぶことも多いですね。

さて、令和6年度も残すところ4授業日となりました。保護者の皆様、関係諸機関の皆様には、細部にわたり学校を支えていただきましたこと、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。明日19日は肢体不自由教育部門高等部の卒業式、21日は両部門中学部の卒業式、24日は両部門小学部の卒業式となります。卒業生一人一人の人生の節目の日を、学園全体で支えたいと思っております。御理解御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

表題の「木は光を浴びて育つ」という言葉は、ポジティブことば手帖という本を出されているまゆ先生（小学校の先生です）のお話を聞く機会があり、そこで学んだことですが、同じように「人は言葉を浴びて育つ」とも仰っておられました。私たちは、日頃多くの言葉を使って、自分の思いを伝えています。浴びる言葉によって、受け取るものや湧き上がる感情は様々だと思いますが、できるだけ、わかりやすく温かい言葉を使っていきたいと思っています。しかし、感情に任せる言葉を発しないことはないわけで、調整力が問われることも多いです。

「ペップトーク」という言葉を聞いたことがありますか？恥ずかしながら私は今年度初めて知りました。これは造語ではなく英語の辞書にも載っている言葉で、「ペップ」は、元気・活気、Pep talkは激励演説・応援演説という意味だそうです。元々はアメリカのスポーツ界で、選手を鼓舞するためのショートスピーチをして用いられていたそうですが、最近は「励ます」だけでなく「応援したい」気持ちも込めて使うといいと学びました。

自分を応援する言葉を見つけて、使ってみませんか？

御卒業おめでとうございます

【肢体不自由教育部門 小学部6年より】

学年主任 田口 宏昭

6歳の入学式から、いよいよ12歳の卒業式ですね。その中で6年生の皆さんは、希望や戸惑い、ドキドキやわくわくをたくさん感じ、その都度クリアし、自分の中に落とし込み、心身ともに成長中です。そんな皆さんに、この言葉を送ります。

『物語はここから始まるのだ。』

これは、マンガのパイオニア的存在で「漫画の神様」と称される手塚治虫（1928～1989）の言葉です。ぜひこれからも、自分たち一人一人の物語を紡いでいってください！

【肢体不自由教育部門 中学部3年より】

学年主任 片柳 浩之

中学部に入学してはや3年の月日が流れました。いろいろな行事ができるようになり、少しずつ以前の日常に近づいてきた3年間。振り返ると、担任が替わり、授業の進み方が変わり、不安だらけの毎日でしたね。お泊りが寂しくて涙した宿泊防災訓練、少しずつ慣れてきた移動教室、十二分に楽しむことができた修学旅行。身体も心も見違えるほど大きく成長しました。そして高等部受験、人生で初めて自分の進む道を決めました。これからの長い人生、辛い時も、楽しい時も、9人の仲間と中学部の思い出を胸に頑張ってください。御卒業おめでとうございます。

【肢体不自由教育部門 高等部3年より】

学年主任 坂本 典子

皆さんは、12年間の学校生活で様々な人たちと出会い、学び経験しました。そして皆さんは自分の思いを伝えたり、周りの人と協力したりすることができました。6人これからそれぞれの世界に羽ばたきますが、たくさんの人たちと出会い、そして自分の気持ちを表現していってください。

皆さんと一緒に学校生活を送れて、とても楽しかったです。ちょっと離れたところからになりますが、先生たちみんな、ずっと応援しています。今までありがとう。卒業おめでとうございます。

【知的障害教育部門 小学部6年より】

学年主任 高島 タ子

小学生になって6年間、コロナ禍を経験し、不安なこと、大変なこともあったかと思います。徐々に活動が再開され、今年度は、スポーツフェスティバル、修学旅行、学園祭、移動教室と一つの行事に全力で取り組み、たくさんの成長を見ることができました。6年生になり、友達との関係が強まり、周りを思いやる気持ちにあふれる立派なお兄さんお姉さんになったことを実感しています。中学部では、新しい学習、新たな出会いが待っています。『ときめき』を楽しみながら、進んでいってください。応援しています。御卒業おめでとうございます。

【知的障害教育部門 中学部3年より】

学年主任 安木 市村

入学式で出会った皆さんは、ちょっと大きめの真新しい標準服を身に着け、緊張した面持ちでした。中学部で過ごした3年間で、自分のことだけではなく、友達や周りの人たちのことを考えられるようになり、心も体も大きく成長しましたね。スポーツフェスティバルや学園祭、宿泊行事、日々の授業で得た学びや思い出が、4月から始まる新しい生活の中で、皆さんの支えになったら、先生たちはとてもうれしいです。さらなる成長を心から願っています。